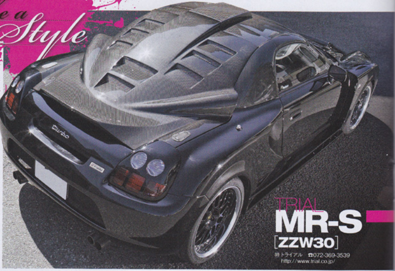
後方までのびるクーペルーフが独創的なスタイリングを創出



TRIAL MR-S

[ZZW30]

㈱トライアル ☎072-369-3539
http://www.trial.co.jp/

ボディにボリューム感をプラスMR-Sが大きく生まれ変わる

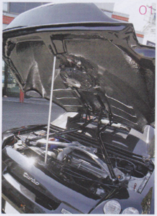
ライトウエイトのリヤミッドシップ車として、走りの楽しさには定評があるMR-S。そのチューニングを得意とするトライアルではEXマニやマフラー、排気量を2ℓに拡大する〝3ZZキット〟などのパワーアップ系パーツにとどまらず、エアロキットをはじめとしたエクステリア系パーツもラインアップしている。

なかでも、絶版となった純正品に代わって人気を集めているのがTRY FORCEハードトップ。今回は、そのルーフラインにあわせた専用設計の『クーペルーフ』が追加された。

これは、ルーフ後端からテールエンドまでを覆うカウルでMR-Sのスタイリングが激変。ルーフラインを延長することでボディのボリューム感を高め、とくにサイドビューは前後方向にコンパクトになったような視覚的な効果をもたらす。

しかも、本来の設計では4隅をボンピンで固定する脱着式とされているが、取材車両はスチールパイプでフレーム&ヒンジをワンオフ製作して開閉式に変更。さらに、クーペルーフも上部をカットして脱着式としたデタッチャブルトップ仕様へと改められている。

モノクラフトGT300キットで迫力をましたボディは、ワンオフ加工がほどこされたTRY FORCEハードトップとクーペルーフによって、いっそう存在感を高めているワケだ。



01 リヤウインドウを貫通してストラットタワーまでのびるロールケージに、スチールパイプで製作したフレーム&ヒンジを装着。クーペルーフはリヤにスライドしながら上に開く方式へと改められている。また、エンジンはTTE製ボルトオンターボで武装。熱を強制的に排出する電動ファンがクーペルーフの裏側にカクニンできる。

02 ワンオフ加工によってデタッチャブルトップ化されたTRY FORCEハードトップ（ウエットカーボン製29万4000円／FRP製21万円）。フロント側は純正キャッチ、リヤ側はスライドヒンジでルーフを固定する。

03 ブラック&レッドの2トーンでまとめられたインテリア。ダッシュボードやドアトリム、シート表皮の張り替えは、すべてオーナーによるハンドメイドで3年もの時間を費やしたという。それだけに、エクステリアに負けない個性的な仕上がりを見せる。

04 足もとは、ワークVS XX（フロント7Jオフセット±0／リヤ8Jオフセット−3）に、フロント215/40-17、リヤ245/35-18サイズのダンロップSPスポーツMAXXをセット。

05 エアロはモノクラフトGT300キットが装着され、ワイドボディ化を実現。ヘッドライトカバーとテールレンズカバー（いずれも、カーボン製3万7800円／FRP製2万1000円）はトライアルオリジナルだ。

PHOTO：伊藤吉行